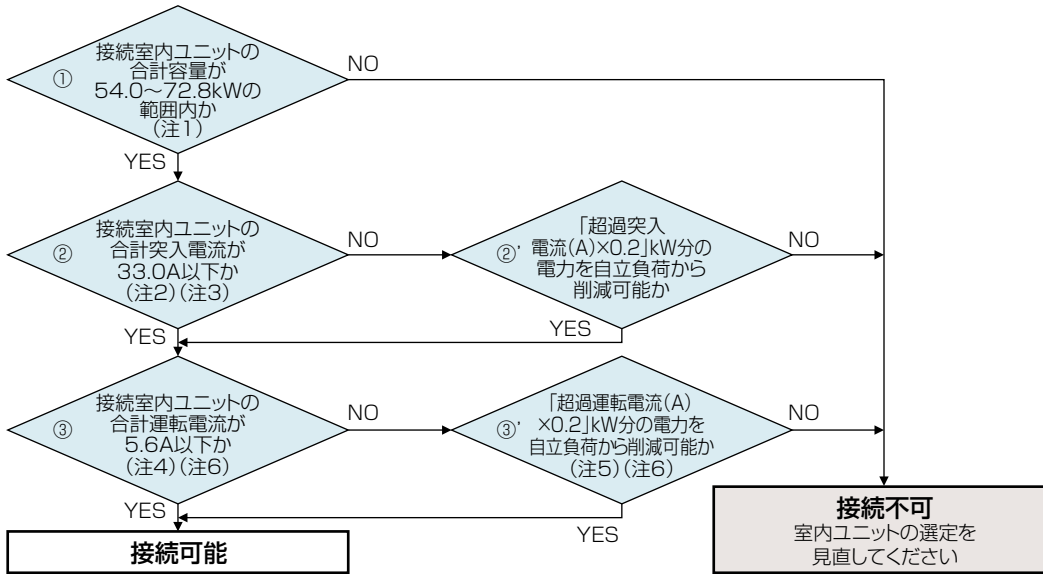


# 室内ユニット接続可否判定

接続可否判定フローチャートにより室内ユニットの接続可否判定をしてください。

## ● 接続可否判定フローチャート



- (注1) 天井吊形 (MA型以降) で160形×2台 (合計容量32.0kW)、×3台 (合計容量48.0kW) については接続可となります。
- (注2) <表1>より算出してください。
- (注3) 接続室内ユニットの合計突入電流が43.0Aを超えた場合は接続不可です。
- (注4) <表2>より算出してください。
- (注5) 超過運転電流(A)×0.2 ≤ 超過突入電流(A)×0.2の場合は、追加で自立負荷から電力を削除する必要はありません。
- (注6) 自立切替盤の場合、合計運転電流5.0Aを超えるときは室内ユニット電源ブレーカーを10Aまたは15Aに変更してください。自立ユニットの場合、合計運転電流10.0Aを超えるときは室内ユニット電源ブレーカーを15Aに変更してください。(富士電機(株)製: EW32AAG-2P 10Aまたは15A 30mA(現地調達))

<表1>室内ユニット突入電流表

タイプ			突入電流 (A)											
			22形	28形	36形	45形	56形	71形	80形	90形	112形	140形	160形	
天井埋込カセット形	ラウンドフロータイプ	AXFP-NA	—	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2
	S-ラウンドフロータイプ	AXFP-EA	—	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2
	エコ・ダブルフロータイプ	AXCP-EA	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1
	シングルフロー(コーナー)タイプ	AXKP-EB	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	—	—	—	—	—	—
天井ビルトイン形		AXSP-EB	10.6	10.6	10.6	10.6	10.6	10.6	—	10.6	10.6	10.6	—	—
天井埋込ダクト形		AXMP-EB	—	—	—	8.1	8.1	8.1	—	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1
天井吊形		AXHP-NA	—	—	4.05	4.05	4.05	4.05	4.05	4.05	4.05	8.1	8.1	8.1
壁掛形		AXAP-EB/MA	—	4.05	4.05	4.05	4.05	7.55	—	—	—	—	—	—

※接続室内ユニットの判定用の評価値を表します。室内ユニットの突入電流を保証する値ではありません。

<表2>室内ユニット運転電流表

(50/60Hz)

タイプ			運転電流 (A)										
			22形	28形	36形	45形	56形	71形	80形	90形	112形	140形	160形
天井埋込カセット形	ラウンドフロータイプ	AXFP-NA	—	0.2/0.2	0.2/0.2	0.3/0.3	0.3/0.3	0.5/0.5	0.7/0.7	0.7/0.7	1.1/1.1	1.2/1.2	1.3/1.3
	S-ラウンドフロータイプ	AXFP-EA	—	0.2/0.2	0.2/0.2	0.3/0.3	0.3/0.3	0.4/0.4	0.5/0.5	0.8/0.8	1.3/1.3	1.3/1.3	1.3/1.3
	エコ・ダブルフロータイプ	AXCP-EA	0.2/0.2	0.3/0.3	0.3/0.3	0.3/0.3	0.4/0.4	0.4/0.4	0.5/0.5	0.6/0.6	0.6/0.6	0.9/0.9	1.2/1.2
	シングルフロー(コーナー)タイプ	AXKP-EB	0.2/0.2	0.3/0.3	0.3/0.3	0.4/0.4	0.6/0.6	0.6/0.6	—	—	—	—	—
天井ビルトイン形		AXSP-EB	0.3/0.3	0.3/0.3	0.4/0.4	0.6/0.6	0.7/0.7	0.7/0.7	—	0.8/0.8	1.0/1.0	1.3/1.3	—
天井埋込ダクト形(機外静圧最大時)		AXMP-EB	—	—	—	1.2/1.2	1.2/1.2	1.5/1.5	—	2.2/2.2	2.4/2.4	2.9/2.9	2.9/2.9
天井吊形		AXHP-NA	—	—	0.6/0.6	0.6/0.6	0.6/0.6	0.6/0.6	0.6/0.6	1.2/1.2	1.3/1.3	1.0/1.0	1.6/1.6
壁掛形		AXAP-EB/MA	—	0.4/0.4	0.3/0.3	0.4/0.4	0.6/0.6	0.5/0.5	—	—	—	—	—

※冷房時または暖房時のより大きい値を記載しています。

### 【計算例】 (①~③は●接続可否判定フローチャート内の数を示す)

自立負荷: 2kW 電源周波数: 50Hz 選定室内ユニット: AXFP140NA×1台、AXCP71EA×2台、AXMP140EB×3台 の場合

- ① 接続室内ユニットの合計容量を算出  
 $14.0kW \times 1台 + 7.1kW \times 2台 + 14.0kW \times 3台 = 70.2kW \Rightarrow$  合計容量が96.4~130%以内であるため接続可能
  - ② 接続室内ユニットの合計突入電流を算出  
 <表1>より  $4.2A \times 1台 + 4.2A \times 2台 + 8.1A \times 3台 = 36.9A \Rightarrow$  合計突入電流が33.0Aより3.9A超えるため自立負荷から超過分電力の削減が必要
  - ②' 自立負荷から削除する電力を算出  
 ②より  $3.9A(超過突入電流) \times 0.2(固定係数) = 0.78kW \Rightarrow$  自立負荷から0.78kW分の電力を削除できれば接続可能
  - ③ 接続室内ユニットの合計運転電流を算出  
 <表2>より  $1.2A \times 1台 + 0.4A \times 2台 + 2.9A \times 3台 = 10.7A \Rightarrow$  合計運転電流が5.6Aより5.1A超えるため自立負荷から追加で電力の削減が必要か検討
  - ③' 自立負荷から追加で削除する電力を算出  
 ②、③より  $5.1A(超過運転電流) \times 0.2 = 1.02kW \geq 0.78kW(自立負荷からの削除電力) \Rightarrow$  超過突入電流もしくは超過運転電流のどちらか大きい数値分の電力を削除できれば接続可能
- 結果: この室内ユニットの組み合わせは自立負荷から1.02kW分の電力を削除できれば接続可能